



実りの秋

酷暑の夏がようやく終わり、少し過ごしやすくなりました。町内のあちこちで、稲刈りも進んでいます。学校でも2学期の大きな取組である体育祭を先日、無事に終えました。競技中は何とか雨に遭うこともなく、全ての種目を実施できました。思い切り声を出して応援したり、円陣を組んでかけ声をかけたり、昨年できなかった分、今年は一層、白熱した雰囲気での体育祭となりました。学年もブロックも越えて、互いの頑張りに声援を送る姿は見ていて、本当に清々しいものでした。保護者や地域の皆様にも温かく見守っていただき、本当にありがとうございました。

今年のキーワードは「Restart」。仲間との活動を大切にして、個人としても集団としても成長できる学校づくりをしていこうと取り組んでいます。生徒も先生方も、何のためにその活動をするのかをしっかりと考えることを大事にしています。閉会式で生徒会長の梶本くんが「互いに競い合って勝敗がついたが、共に今日まで頑張ってきたことは同じ」と挨拶をしました。体育祭で何を大事にしてきたかがこの言葉から感じられます。

日々の授業や生活を基本にしながら、そこに様々な活動を積み上げ、その手応えが稲穂のようにずっしりと感じられるこの頃です。次は文化祭。文化祭の取組で何を感じ、どんなことに気づき、どんな変化が起こるのか？ 実りの秋に期待しています。

校長 谷口 恭子



感染症対策も意識して。



合唱練習に熱が入ります。クラスや学年の仲間を信じて、伸び伸びと声を出して歌う楽しさ、それが合唱の魅力ではないでしょうか。当日まで、いろいろなことがあるでしょうが、そのプロセスこそが大事。



楽譜をよく見て。ここはこんな感じで歌う？

伴奏者、指揮者は夏休み中も練習。みんなを引っ張る大事な役目。



文化祭のスローガンは「絆」



3年生にとってはいいよ最後の行事。



双葉町・京丹波町子ども交流事業



「広報京丹波9」より

東日本大震災のあった
2011年3月11日の黒板

7月29日から3日間、京丹波町から中学生6人と須知高校生2人が福島県双葉町を訪問しました。本校からは2年生北村さんと吉岡さんが代表で参加しました。旧双葉町立中学校は震災当日が卒業式で、生徒のメッセージが黒板いっぱいに残されています。この直後、原発事故で全町民が双葉町から避難を余儀なくされた……。現地で当時の状況や今の双葉町を見てきた訪問団。「百聞は一見にしかず」です。自分の目で見て肌で感じてきたことを、19日、役場で開催された報告会で発表しました。全校生徒にも伝えたいことがたくさんあります。校内の報告会も計画しています。

駅伝*鍛錬

10月14日(土)の口丹駅伝競走大会に向けて、今年も大勢の生徒が練習に励んでいます。夏休みから練習に取り組み、日々、互いに励まし合いながら心身を鍛えています。汗だくになって、歯を食いしばって、自分自身に挑戦している姿は本当に心を打たれます。頑張り抜いた先できっと違う自分に出会えることでしょう。駅伝チームを全校で応援しています。Fight!